

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	企画部	企画調整課	担当	内線等	1532
----	-----	-------	----	-----	------

事業コード		事務事業名	水道水源保全交流事業
根拠法令等	水道水源基金条例		B 条例

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	蒲郡市民と鳳来及び設楽町民に対し、
手段	水道水源基金を財源とする両地域間の交流事業を実施することにより、
想定する成果	水源地域や森林が下流域に果たしている役割を浸透させる。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
交流事業実施回数	4	3	3
交流事業参加者数	179	166	280
参加者内訳（蒲郡・鳳来・設楽）	(156・0・23)	(37・43・86)	(40・100・140)

目標値

成果指標名	交流事業参加者数
成果指標の説明	交流事業参加者数

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	280人
	実績	179人	166人	-
事業費	事業費	926,494	1,520,775	2,442,000
	人件費	3,428,800	3,343,200	3,398,800
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	4,355,294	4,863,975	5,840,800
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他		1,520,775	2,442,000
	一般財源	4,355,294	3,343,200	3,398,800

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	10	10	広報で参加者を募集しているが、定員を超える申込がある。今後は、受け入れ側との協議により、定員増（回数増）ができるかが課題となる。
効率性	3	3	山間部を訪問する場合は、狭隘な道を通行することがあり、小型バスを利用している。そのため定員に限りが生じている。
公共性	10	10	水資源の安定的な確保には、水源地域の保全が不可欠であることを、蒲郡市民がより理解する機会の提供であり、水道を供給している公共の責務である。
緊急度	3	3	この事業自体は、明日の生活に即影響を与える事業ではない。じっくり、長く行う事業である。
小計	26	26	
市民参加度	6	6	毎年参加する市民もいるので、多くの新しい参加者の確保が必要である。
合計	32	32	
総合評価	B	B	自己水源を持たない本市にとってこの事業は重要であり、継続させる必要がある。今後は、交流事業のマンネリ化を防ぎつつ、市民の水資源に対する理解の輪を更に広げたい。

これまでに実施した改善点

達成度	過去において定員割になりそうな時があった。その際は、個別に、団体に参加依頼を行い参加者を確保した。
効率性	訪問事業だけでなく、交流事業の一環として、間伐材の利用促進のためベンチを製作した。
公共性	水道水源基金を創設して、本事業の安定的な財源確保に努めた。
緊急度	水源地域が本市を訪問する際、貝毒事件があったので、季節を変更して、潮干狩りの予定をみかん狩りとした。
市民参加度	定員を超えた場合は、初めての人を優先的に選んだ。

今後の改善すべき点

達成度	現状の募集定員の確保はできるので、定員増の必要性、可能性を検討したい。更に、訪問事業だけでなく、間伐材の利用等を実施して、水資源の確保の必要性について市民理解を深めたい。
効率性	定員に限りのある訪問事業だけでなく、水源保全に必要な事業を構築し、多くの市民の参加、理解を得たい。
公共性	森林作業の体験ツアー（下草刈り、間引き、間伐材の引出、運搬等）も将来視野にいれたい。
緊急度	事情によっては、実施時期、定員、内容、方法等柔軟に対応したい。
市民参加度	参加しての満足度、理解度、水源保全の必要度を高めるための事業構築に努めたい。